

一般社団法人 ESCO推進協議会 設立（プレスリリース）

ESCO推進協議会（会長：茅陽一東京大学名誉教授）は1999年10月に任意団体として設立され、120社以上の会員を有する団体としてこれまで様々な活動を通じ、ESCO事業の普及拡大と温暖化対策に取り組んできた。温暖化対策については、国内外において厳しい対応が迫られており、それを実現するための仕組みのひとつとして、ESCO事業にはますます多くの期待が集まっている。また、途上国・新興国のエネルギー需要拡大により、特にアジア諸国におけるESCO事業が急速に普及拡大しつつあるが、当協議会に対するアジア諸国からの期待も大きく、ESCO推進協議会のアジア諸国との関係は今後益々緊密になると考えられる。

昨年10月に10周年を迎えたESCO推進協議会は、このような期待に真正面から応え、今後の温暖化対策推進を積極的に担う為の組織力強化を目的に、一般社団法人に改組し、新たな第一歩を踏み出すとともに、ESCO事業の普及拡大を通じ、温暖化対策の一翼を担うことによる社会貢献を果たすと同時に、エネルギーサービス分野における新たな産業を育成する団体として環境面、ビジネス面での役割を果たすべく、よりいっそうの活動を推進する。

6月28日に一般社団法人ESCO推進協議会の設立総会を開催し、代表理事中上英俊以下、新たな執行部を選出。旧ESCO推進協議会の会員全てを引き継ぎ、新たなスタートを切った。本年度は、ESCO事業のさらなる飛躍を図るために、①ESCO事業の普及啓発と支援策の充実、②ESCO市場の検討とESCO事業者の育成、③会員へのサービスの充実、④国際貢献を主たる活動目標としている。

新執行部は以下のとおり。

会長：茅陽一（東京大学名誉教授）

代表理事：中上英俊（（株）住環境計画研究所）

理事：古賀裕司（（株）日立製作所）、児島裕和（（株）ファーストエスコ）、須田文隆（（株）山武）、永野敏隆（三菱UFJリース（株））、長谷部仁志（関西電力（株））、浜川恵吾（（株）トーエネック）、前川哲也（東京電力（株））、宮本義久（グンゼエンジニアリング（株））、三輪正樹（（株）クリエイティブテクノソリューション）、村田恭夫（東京ガス（株））

監事：山本卓也（弁護士）

2010年6月28日

一般社団法人ESCO推進協議会